



## 第18回 稲門建築会特別功労賞（奨励）

たか はし のぶ ふみ ざ じ ろう  
**高橋 庸文 (座二郎) (苗 H10)**

会社員 + 漫画家

### 表彰理由



会員高橋庸文君は地下鉄の漫画家、座二郎として知られる。普段は建設会社の設計部門で精力的業務を行っているが、自らの表現の場として通勤時間を利用した作品表現を継続している。地下鉄の通勤時間の現実と空想を織り交ぜた漫画『RAPID COMMUTER UNDERGROUND』が、第16回文化庁メディア芸術祭推薦作品に選出される。それは一つのストーリーにすぎないが、ここに大事な要点が隠されている。このストーリーの出発点のことである。建築学科で50年にも跨る(なんなん)とする科目に2年次の設計演習がある。受講者一人一人の中にある自らの資質の発見を講義の本質とするものである。高橋君は1995年に受講して創作活動に開眼し、以後、

「設計演習は己の人生である」と語り、奇しくも2013年度の設計演習B,Cの非常勤講師も務め、稲門建築会広報委員として機関誌WA2014にて「設計演習特集」を担当し、科目「設計演習」の歴史をまとめに及んだ。早稲田建築ならではの科目を足がかりにして、自らの資質を見定め、それを加速的に発展させた稀有な一例であり、なおかつ、大手建設業の設計部門の前線に能力を持てて泰然と行動されていることにそのことが支えられていることは、これから表現者になろうとする者にとっての新しい在り様を示す事例で、意義深いことと言える。この経緯を背景に新しいスタイルの漫画表現の潮流に竿をさしながら、これまでさまざまな名のある賞を受賞し、自らの表現の場をライブという形で怠ることなく継続されている表現者という存在が高橋庸文君であり、これから彼の活動が早稲田建築の名を高めてくれるだろうことを確信して、ここに稲門建築会功労賞（奨励賞）に推薦する。

（推薦者：入江 正之）

### 略歴

1974年	東京生まれ
1998年	早稲田大学建築学科卒業
2000年	早稲田大学大学院理工学研究科建築計画修了
2000年～現在	前田建設工業に勤務
2006年	通勤電車の中で描いた漫画が「座二郎のデコミ！」が週刊モーニング漫画openにて「かわぐちかいじ賞」を受賞。
2009年	写真作品「多重旅行」エプソンカラーアイメージングコンテスト2009にて入選
2011年	絵本「ぼくのへや」（ほたかわようさんとの共著）が「創作童話・絵本・デジタル絵本コンテスト」創作絵本部門にて「金の星社賞」受賞
2012年	「RAPID COMMUTER UNDERGROUND(地下鉄の座二郎)」発表 （第16回文化庁メディア芸術祭マンガ部門審査委員会推薦作品）
2013年	早稲田大学非常勤講師
2013年	「座二郎原画展」開催

